

孫汝上之集  
卷之八

再來膝栗毛

夢外舍主人著

下

10

15

20

25

30

A 795  
3c

甲の書き

むらさきの雲のうらみ

◎ まるく起るる月夜

と書いよふと又とらふとみで後者の

月夜はあつたならぬ昔の

写すことゝあつて

△ まるく起るる月夜

芝居のあつたこと

△ 竹の子の徳目の横柄

遠くはれぬ

△ 何ぞ

ゆんでもあ

そのまゝあつた

らるる女臨居の

男めあけた月夜が

△ 横柄

月お百圓と武蔵のあつた

△ 横柄

捨田の夜のあつた

△ 横柄

捨田の夜



48-8014

つぎ 槍やあめそま

きふくさのさきがきふくさのさき

中へくねるきふくさのさき

が五の牧帯の葉葉羽織

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

とくちう

きふくさのさき

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合

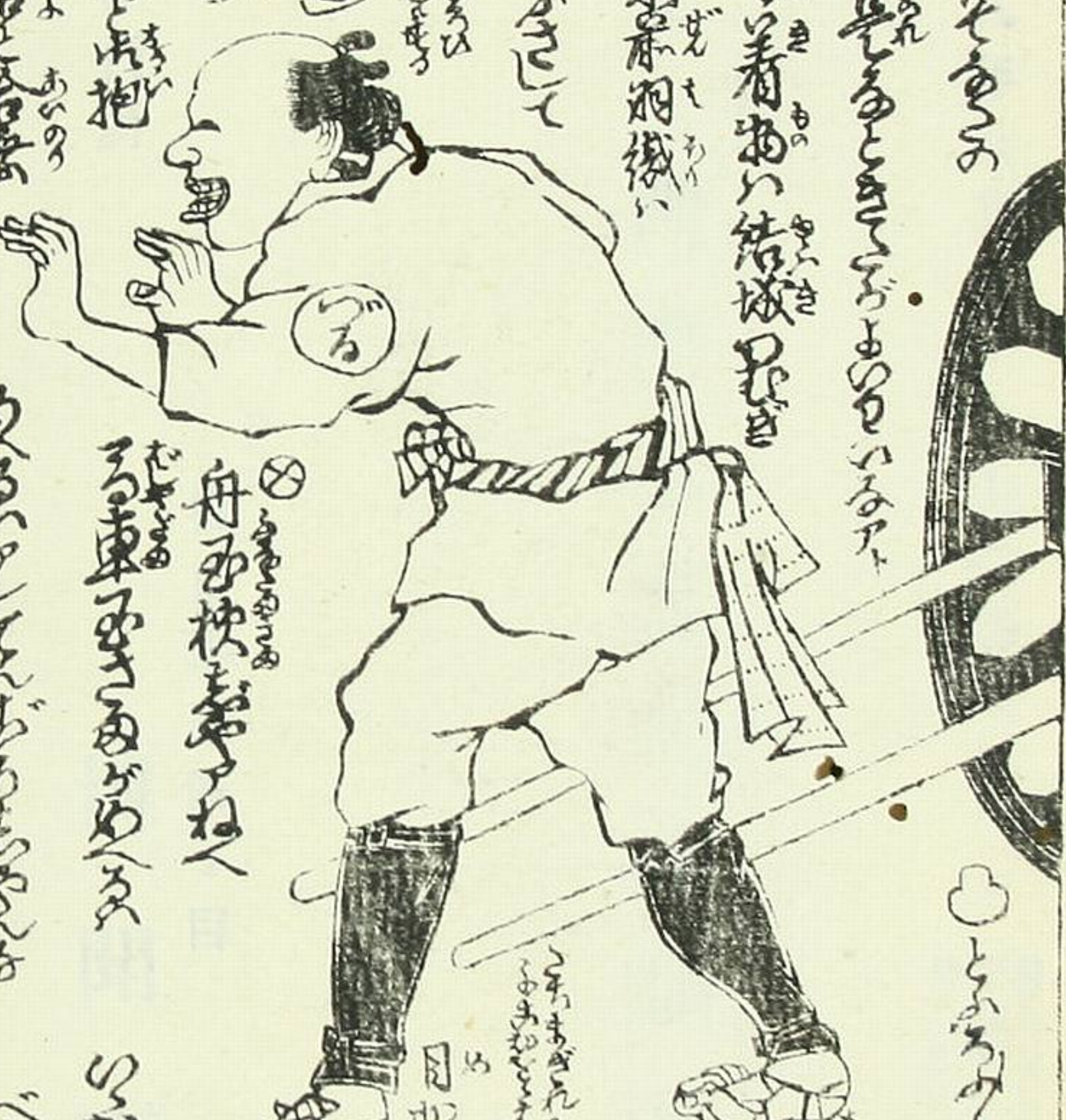
ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき



舟の杖をさる

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

舟の杖をさる

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

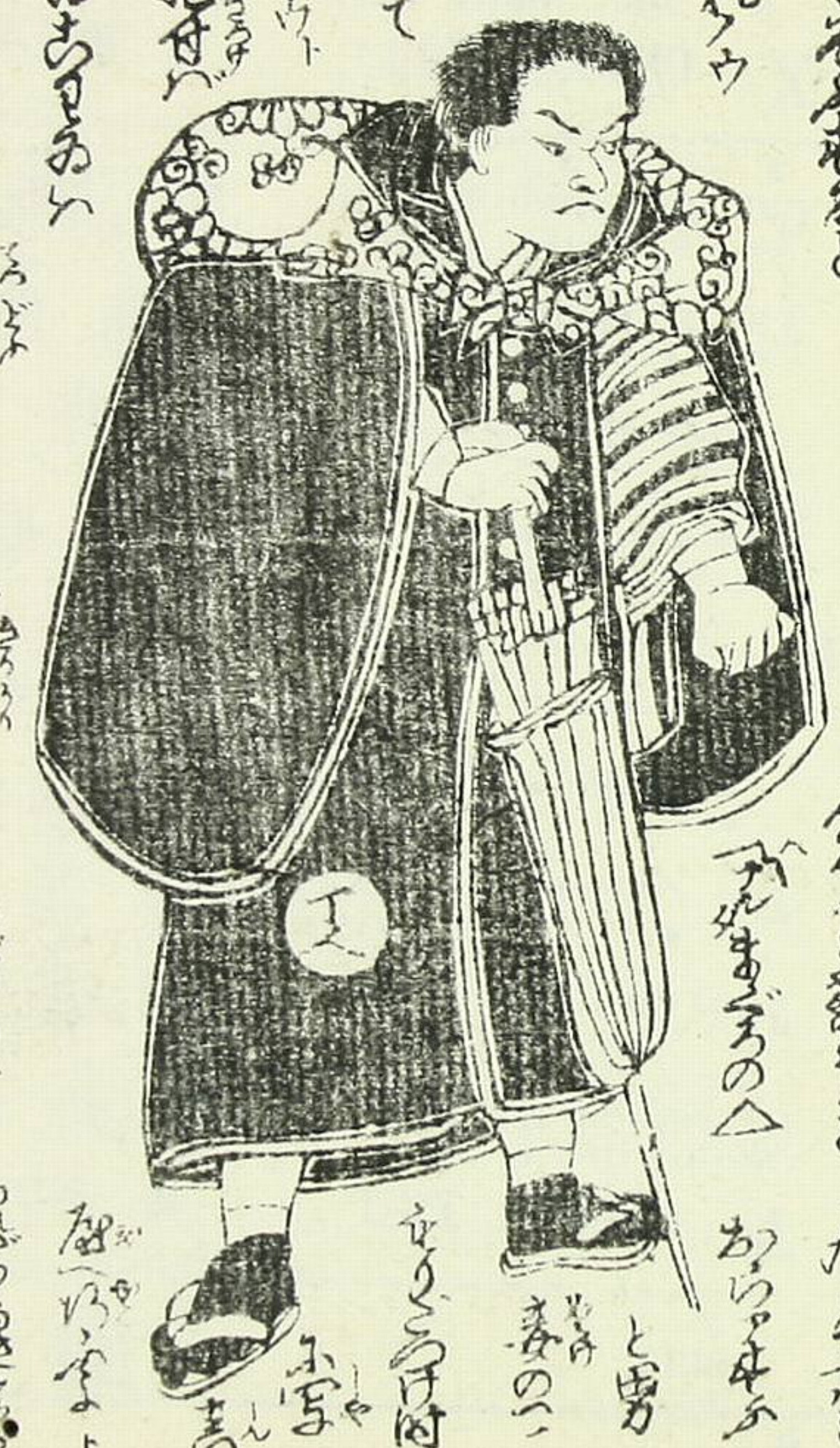
こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合



舟の杖をさる

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき

増長をさるら

このいもあめがまの舟

のる車は女隠居と合

ていふこころが引出せと車の音

かきすあたま

あたまをかきすあたま

こころのちかちか

きふくさのさき



つぎ 三郎 ちるまのり  
今を秋の柔に  
西に半程さるる

まら狭と令り  
てふとんあせつ

もあまふまのり  
月今日あつらふ

ゆめさる車を持  
行くはなはた

まごのまのり  
よりの車へ

らそふをい  
ろ客をさるる

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり

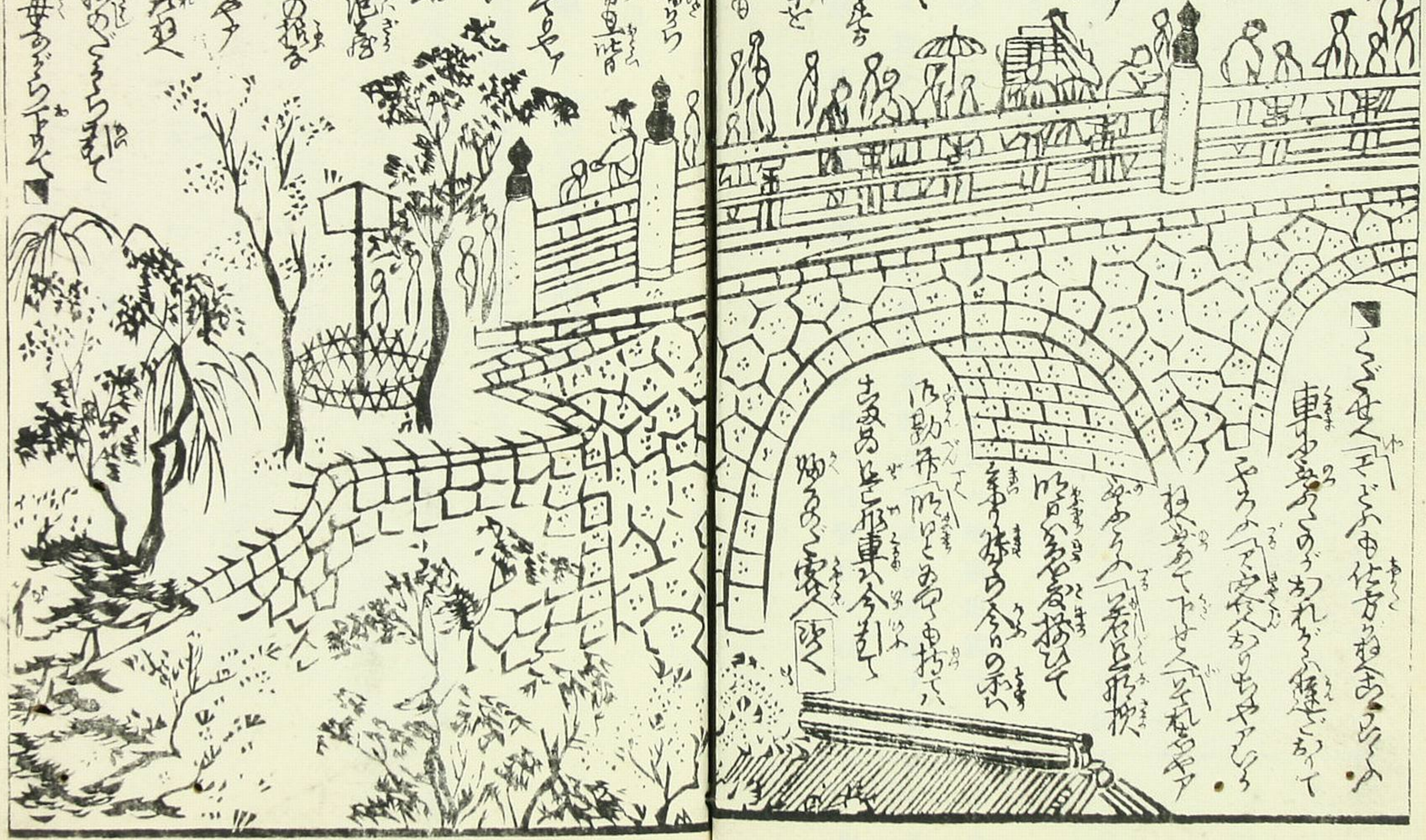
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり

まごのまのり  
まごのまのり



腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク

此の形ト思はば木太ク



腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

腰巻毛丁の形ト思はば木太ク

ついで

高井松平公が相模の棟梁に

雲を掃いて宇治の老翁に

お寺に御座ひ多くあるの

カラキヤサの寺に

組の百方拾てある

明治の年、赤松山

の戦いもあつた

細川家もある

柳原健吉の大戦ひ

なる西山中

● 寺の

中々

し

し

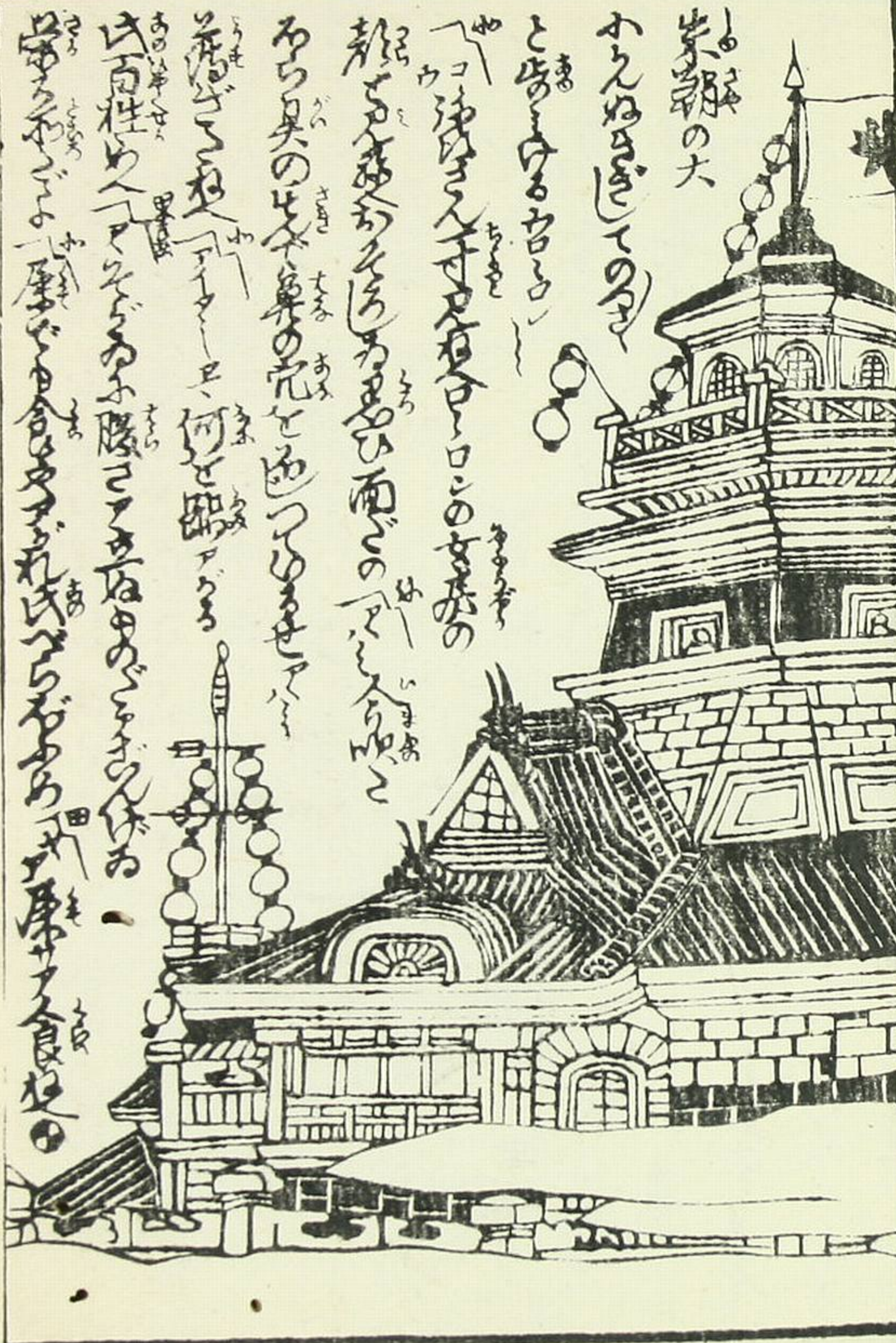
し

し

し

し

し



崇朝の大

かえり

と

の

の

の

の

の

の

てんてん

※Pinchomgaの...の...



てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん

てんてん





日本銀行



かまぼこ  
 いか  
 ちりめん  
 ちりめん  
 ちりめん  
 ちりめん  
 ちりめん  
 ちりめん

あじふ  
 むかし  
 日暮  
 閉運協の銀行  
 あつた  
 何ん  
 人々



あじふ  
 むかし  
 日暮  
 閉運協の銀行  
 あつた  
 何ん  
 人々

あじふ  
 むかし  
 日暮  
 閉運協の銀行  
 あつた  
 何ん  
 人々

日本銀行

日本銀行

Handwritten text at the top of the right page, including the characters '用毛'.

Handwritten text below the top section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.

Handwritten text below the previous section on the right page.



Handwritten text at the bottom of the right page, below the illustration.

Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text below the top section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text below the previous section on the left page.

Handwritten text at the bottom of the left page.



Handwritten text at the bottom of the left page, below the illustration.



明治二十三年九月八日出版  
 全 二十五年一月一日再版

正價廿五錢

明治二十三年九月八日出版  
 全 二十五年一月一日再版

正價廿五錢

著作者 宮川勝五郎  
東京市淺草區元吉町十一番地

發行者 平賀信恭  
全 神田區佐柄木町廿一番地

發賣者 三好直藏  
全 區錦町二丁目三番地

全 山口瀧藏  
全區全町三丁目廿四番地

印刷者 佐藤三太郎  
全 下谷區練屏町三十番地

賣捌所 小室松五郎  
日本橋區藥研堀町  
 中島抱五堂  
大坂市南久郎町四丁目

010190525282

